

いわて木材利用優良施設コンクール 奨励賞受賞!!

岩手県と岩手県木材需要拡大協議会が主催する「令和2年度いわて木材利用優良施設コンクール岩手県木材需要拡大協議会会長賞授与式」が2020年7月13日、岩手県盛岡市の農林会館で開かれました。

このコンクールは、木材利用の一層の推進を図るため、利用分野の拡大や特色ある施設等を対象に、県と県木材需要拡大協議会が木材利用施設等の優良な事例を表彰するものとして毎年開催されております。

本施設は、木のぬくもりと親しみのある施設と評価され、奨励賞を受賞いたしました。



受賞者 左： 宮古市 様
中央： 株式会社久慈設計
右： 株式会社佐々木組 三陸営業所 様

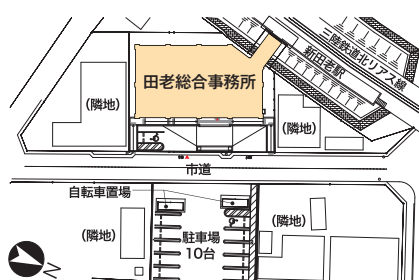


授与式にて拝受した表彰状

地図



配置図



設計担当者紹介

設計担当 一級建築士 新田 信行

(株)久慈設計 上席執行役員 建築設計本部 担当部長



この度、新しい宮古市田老総合事務所が開所されました。新庁舎は行政の業務とともに、三陸鉄道「新田老駅」に直結し住民生活の利便性の向上を図った施設となっています。

建物の主要構造部は災害に強い鉄筋コンクリート造とし、その他の構造材・内装材には地域産木材を多く使用することにより、地域の産業振興に寄与した安全安心かつぬくもりが感じられるような空間づくりに配慮しました。今後、地域の顔として親しまれ、田老地区の生活を支える施設として未永く利用されることを期待しています。

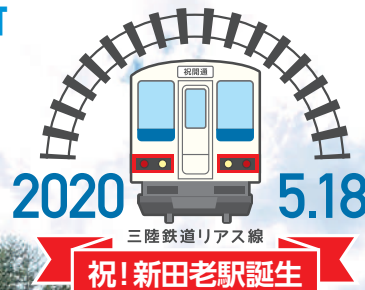
Always with a SMILE!

2020
9月号

Vol.186

三陸鉄道リアス線、新田老駅直結!!

特集 宮古市田老総合事務所



祝! 新田老駅誕生



KUJI HIGASHINIHON ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計 東日本
(一級建築士事務所)

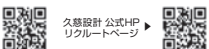
KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計
(一級建築士事務所)

บริษัท กุจิ เซคเค ไทย จำกัด
KUJI SEKKEI THAI CO., LTD.
Bangkok

Always with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住所 / 岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL / 019-624-2020

久慈設計公式HP
トップページ



ふくしまからはじめよう。
Future From Fukushima.

「福島の再生なくして日本の再生なし」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島の魅力を発信していきます。



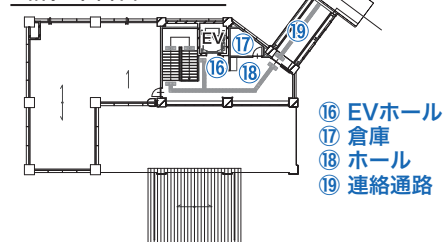
宮古市田老総合事務所

施工地／岩手県宮古市田老一丁目内
 竣工年月／2020年4月28日
 敷地面積／621.91㎡ 延床面積／566.28㎡
 構造／鉄筋コンクリート造、一部木造
 駐車場／10台

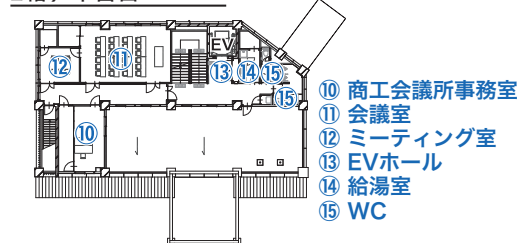
「森・川・海」とひとが調和し共生する岩手県宮古市は、本州最東端に位置する市であり、本州一の鮭の水揚げ量を誇る「鮭のまち」でもあります。宮古市田老地区はかつて明治や昭和の三陸津波で被害を受けてきたため、日本一ともいわれる防潮堤を築いた「津波防災のまち」として知られていましたが、2011年3月11日に発生した東日本大震災で再び津波に襲われ、大きな被害を受けました。現在、宮古市は震災を機に整備された新たな交通ネットワーク、地域防災のための基盤など、取り巻く環境は大きく変化しております。

永らく地域の方々の生活を支えてきた田老総合事務所は、既存庁舎の老朽化と耐震強度不足の問題を解決するため、移転新築し、三陸鉄道リアス線41番目の駅として誕生した「新田老駅」とともに華々しく開所いたしました。本施設には、田老保健センターが田老公民館から移転し、新施設一体となって地域の安全・安心な暮らしとともに市民の健康を支える拠点として誕生いたしました。

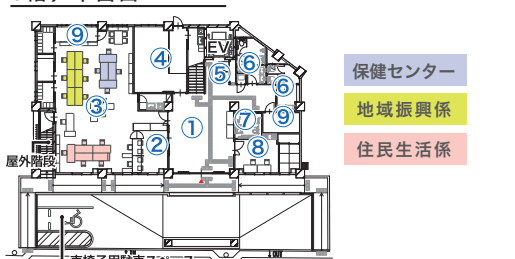
3階 / 平面図



2階 / 平面図



1階 / 平面図



エントランスホール



事務室（住民生活係／地域振興係／保健センター）

利便性を高めたぬくもりの空間

本施設は、住民サービス関連の窓口を1階にまとめることでわかりやすい移動動線とし、高齢者・障がい者の方も利用しやすいようバリアフリー化に努めました。また環境負荷の低減に配慮し、全館LED照明、人感センサーによる節電、節水型衛生器具の採用などにより、省エネルギー・省資源化を図りました。

三陸鉄道リアス線「新田老駅」へもエレベーターにより3階から連絡通路を通じて、利用者様が雨に濡れずに駅のホームへ移動できるような計画としました。本施設は行政・福祉・駅の3つの用途が複合された施設となっており、駅へのアクセス動線並びにトイレ等の共用エリアと、行政執務空間となる事務室等のエリアは使用される時間帯が異なるため、管理に支障のないよう明確にエリア分けをした空間構成となっております。

多くの皆さまの目に触れる施設入り口や、電車の待合室として利用される3階ホール部分には、可能な限り地域産材(主にスギ材)を使用しており、木のぬくもりと親しみ溢れる空間とするとともに、地域の産業振興に寄与しております。



メインアプローチの木造三角屋根



エレベーターホール



新田老駅連絡通路